

小泉一成市長が「大学入門講座Ⅰ」で講義を担当

6月4日、成田市の小泉市長が1年次必修科目「大学入門講座Ⅰ」で90分間の講義を担当されました。「成田市の現況と国際医療福祉大学への期待」と題し、まず、成田山新勝寺や成田国際空港を中心に成田の歴史と現況が紹介されました。この中で、成田空港建設に対する反対闘争が映像によって紹介され、初めてこうした歴史を知った学生も多かったと思われます。次に、人口10万人当たりの医師数は全国でワースト3、看護師数はワースト2という千葉県の現状に触れ、人材の供給や市民に向けた生涯教育の提供など、本学に対する期待が語られ、学生にとって地域とのつながりを再確認する絶好の講義となりました。



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学